

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位1 3/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
7	1	a,b,c,e	十坪住宅 (梅ヶ香)	【用途】寮舎(住宅) 【建築年】昭和12(1937)年 【構造形式】木造 【規模】平屋建て80㎡ 【履歴】昭和55年(1980)年増築	昭和初期の木造建造物、かつ簡素な建物で、入所者の使用終了からも30年近くが経過していることもあり、かなりの部分で損傷が激しい。そのため応急処置として雨による腐食を進行させないため、トラックシートにて一時的に防水を行っている。希望者は外観を見学することは可能であるが、内部の公開は行っていない。	用途廃止		(瀬戸内市) 長島愛生園内の歴史的建造物等を広く保存・活用することは、同園将来構想の基本計画「ハンセン病問題の啓発」を具体的に展開すること、及び本市総合計画の基本計画「みんなのおもいやりあふれる人権尊重のまち」に寄与すると考える。 (世界遺産NPO) R2年度調査報告書のとおり。	緊急保全費用見積額 2,090千円		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
19	1	a,b,c,d,e	邑久高校新良田教室特別教室	【用途】高校 【建設年】昭和30(1955)年 【構造形式・規模】特別教室:木造 地上1階 【面積】154.03㎡ 【履歴】昭和30(1955)年9月16日「岡山県立邑久高等学校定時課程新良田教室」として開校。昭和62(1987)年5月の閉校まで理科教室、家庭科教室及び美術室として使用。	特別教室は排水不良による腐食が進み、床は抜けているとともに、樹木の干渉により屋根も損傷している。特別教室については内部の公開は行っていない。	用途廃止		同上	緊急保全費用見積額 2,310千円		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
25	1	a,b,c,d,e	新良田治療室	【用途】高校/診療室 【建設年】昭和32(1957)年 【構造形式・規模】寄宿舎:木造 地上1階 【面積】104.13㎡	設置当時の状況をよく残しているが、老朽化が進んでおり、一部屋根が崩れ、雨風が侵入している。	用途廃止		同上	緊急保全費用見積額 3,850千円		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位2 7/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
2	1	a,b,c,e	日出浴場	【用途】浴場 【建設年】昭和5(1930)年 【構造形式】鉄筋コンクリート 陸屋根 【規模】地上1階 【履歴】 ・平屋建てとして建てられたが、昭和30(1955)年に2階部分が増築される。その後、昭和53(1978)年に2階部分が取り壊され、平成9(1997)年に用途廃止となり、資材倉庫として利用。 【構成材料(財産台帳より)】 ・外壁:リシン仕上げ	平成27年(2015)年頃まで資材倉庫として使用していた。現在は更衣室の床は抜け、上部からは瓦が侵入してきている。また、一部窓枠も腐食し、窓枠ごと落下している。国の登録有形文化財(H31.3.29)。	平成9(1997)年 用途廃止	現地保存	(瀬戸内市) 長島愛生園内の歴史的建造物等を広く保存・活用することは、同園将来構想の基本計画「ハンセン病問題の啓発」を具体的に展開すること、及び本市総合計画の基本計画「みんなのおもいやりあふれる人権尊重のまち」に寄与すると考える。 (世界遺産NPO) R2年度調査報告書のとおり。	補修費用見積額 54,267千円 (58,707千円)	国の登録有形文化財。療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
6	1	a,b,c,e	十坪住宅(母の家)	【用途】寮舎(住宅) 【建築年】昭和8(1933)年 【構造形式】木造 【規模】2階建て99㎡ 【履歴】昭和33(1958)年増築、昭和52(1977)年増築	昭和初期の木造建造物、かつ簡素な建物で、入所者の使用終了からも30年近く経過していることもあり、かなりの部分で損傷が激しい。そのため応急処置として雨による腐食を進行させないため、トラックシートにて一時的に防水をおこなっている。希望者は外観を見学することは可能であるが、内部の公開は行っていない。	用途廃止	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
13	1	a,b,c,d,e	恩賜記念館	【用途】ホール 【建設年】昭和20(1945)年2月 【構造形式】地上1階、地下1階 【面積】建築面積:208.26㎡ 延床面積:274.38㎡ 【履歴】 ※『曙の潮流 長島愛生園入園者自治会史』より ・「1941(昭和16)年3月、青少年の育成と国民学校に準じた教育の施設として「恩賜道場」は建設された。経費は、1940(昭和15)年10月13日、皇太后陛下よりのご貸し金とその他の寄付金併せて1万4千円を資材費に充てる計画が進められた。～(中略)～ ようやく1943(昭和18)年12月8日、上棟式を行い、1945(昭和20)年2月、間口五間、奥行十二間半の恩賜道場が誕生したのである。 ・恩賜道場は当初の目的のために使われることはなく、昭和25(1950)年からは名称を「恩賜記念館」に変更し、資料館として使用されてきた。 【構成材料(財産台帳より)】 ・屋根:セメント瓦葺 ・外壁:モルタル塗	平成14(2002)年まで、入所者が収集した資料の展示を行っていた。平成15(2003)年、長島愛生園歴史館が展示施設が開館すると、関連資料の倉庫として使用された。しかし、収蔵環境が良好ではないため、収蔵物は使用されなくなった入所者住宅跡に移設している。希望者は内部、外観を見学することは可能。外壁の剥がれや床のたわみが生じている。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
17	1	a,b,c,d,e	邑久高校新良田教室女子寮	【用途】高校 【建設年】昭和30(1955)年 【構造形式・規模】 寄宿舎:木造 地上1階 【面積】	入所者のアトリエとして利用中。一部雨漏りが確認されている。	用途廃止	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
21	1	a,b,c	収容棧橋	【用途】棧橋 【建設年】昭和5(1930)年11月15日 ※昭和12(1937)～昭和12(1939)年に増改築 【使用状況】 ・昭和6(1931)年3月27日、全生園からの開拓患者が上陸した際は、手影島を望む礼拝堂前の地点から上陸したが、その後、すべての患者はこの棧橋から出入りすることとなった。 ・職員や面会人はすべて職員棧橋を利用。使用する棧橋を分けていた。	潮汐や台風の影響により、棧橋の台座部分以外はほぼ落下しており、その一部を見ることができ。普及啓発のための見学用施設として利用している。	用途廃止	現地保存	同上	NPO法人による補修調査実施中。(R2・3年度) 工事費概算(精査中) 92,000千円	国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。 なお、見学者の安全確保のため、棧橋手前の崩落している護岸の整備予算を医政局医療経営支援課に要求しているところ。(令和5年度予算要求)	
22	1	a,b,c	監房	【用途】監禁室 【建設年】昭和5(1930)年12月15日 【構造形式】鉄筋コンクリート造 【規模】地上1階 【面積】建築面積・延床面積:26坪 【使用状況】 (以下入所者への聞き取りによる) ・監禁室は昭和6(1931)年の開園から昭和28(1953)年まで使用。 ・昭和39(1964)年精神病棟建設の際に埋められ、現在目に触れる部分は西側のコンクリート壁のみである。このコンクリート壁は土留め代わりとなっていたが、そのヒビ・たわみ(上からの土砂の圧力によると思われる)がひどくなったため、補強工事を行った。 【構成材料】 ・外壁:モルタル塗	病棟建設や、水害時の残土のにより、その殆どが埋め立てられており、外壁の一部が露出している。また、その外壁も土砂の圧力により湾曲したため、倒壊防止の為、コンクリートの土留をしている。外壁の一部は普及啓発のための見学用施設として利用している。	用途廃止	現地保存・埋没部分の掘り起こしと修復・公開	同上	NPO法人による補修調査実施中。(R2・3年度) 工事費概算(精査中) 136,000千円	国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。 なお、埋め立て造成後の上部に通している生活道路の現状(陥没及び傾斜)を踏まえ、法面等を強化するための整備予算を医政局医療経営支援課に要求しているところ。(令和5年度予算要求)	

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位2 7/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
26	1	a,b,c,e	相愛牛舎	<p>【用途】牛舎</p> <p>【建設年】昭和6(1931)年</p> <p>※昭和26(1951)年に移築、昭和37(1962)年に閉鎖</p> <p>【使用状況】</p> <p>・昭和6年、貞明皇后の御下賜金をもとに下総御料牧場から雄雌二頭の牛を払い下げ。日出地区で飼育開始、後新良田地区で飼育、昭和36年に相愛地区に移転。エサ作りから搾乳まで患者作業にて行われなければならない、入所者の重労働により運営。入所者の減少により昭和37年に閉鎖。</p>	<p>潮汐や台風の影響を受け、木造舎は老朽により枯れ落ち、倒壊寸前であったところ、数本の骨柱に支柱により補強し、何とか倒壊だけは免れているところ。屋根も抜け落ち雨ざらしより、早急な補強保全修理が必要。外観だけであるが、社会教育に役立て見学用施設として利用している。</p>	用途廃止	現地保存	同上			国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位3 9/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
1	1	a,b,c,e	回春寮	【用途】収容所 【建設年】昭和5(1930)年5月30日 【構造形式】鉄筋コンクリート造 及び 木造 【規模】地上1階 【面積】建築面積・延床面積:188.44㎡ 【履歴】 ・回春寮も事務本館と同じく開園当初に建てられた建物の一つ。 ・回春寮前の収容棧橋に降り立った患者たちを一時収容するための建物で、検診や病歴の確認等を行い、年齢、症状等に応じて各寮へ振り分けるまで10日程度留め置いた。昭和30年代初期まで行われていた。 【構成材料(財産台帳より)】 ・外壁:モルタル塗 ・屋根:厚型スレート葺	平成29年(2017)に補修を行ったが、さらに内壁の一部が剥離している。普及啓発のための見学用施設として利用している。国の登録有形文化財(H31.3.29)。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	(瀬戸内市) 長島愛生園内の歴史的建造物等を広く保存・活用することは、同園将来構想の基本計画で「ハンセン病問題の啓発」を具体的に展開すること、及び本市総合計画の基本計画で「みんなのおもいやりあふれる人権尊重のまち」に寄与すると考える。 (世界遺産NPO) R2年度調査報告書のとおり。	千円 H29年度に補修実施。		国の登録有形文化財。療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
3	1	a,b,c,e	旧洗濯場	【用途】洗濯作業場 【建設年】昭和5(1930)年12月15日 【構造形式】鉄筋コンクリート 【規模】地上1階 156㎡ 【履歴】 ・昭和44(1969)年に増築、昭和60(1985)年に模様替え。 【構成材料(財産台帳より)】 ・外壁:リシン仕上げ	内部は適宜補修が行われ、カラオケ会場や書庫として利用されていた。国の登録有形文化財(H31.3.29)。	平成9(1997)年用途廃止	現地保存	同上	補修費用見積額 28,662千円 (28,884千円)		国の登録有形文化財。療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
5	1	a,b,e	旧事務本館	【用途】事務所 【建設年】昭和5(1930)年5月30日 ※昭和9(1934)年～昭和28(1953)年にかけて増築 【構造形式】鉄筋コンクリート造 及び 木造 【規模】地上2階 【面積】建築面積:375.47㎡ 延床面積:476.20㎡ 【履歴】 ・(『曙の潮流 長島愛生園入園者自治会史』より) 旧事務本館は、1930(昭和5)年に、国立療養所第1号として創立された長島愛生園の創立当時の建物65棟の中核として昭和5(1930)年5月30日竣工した。 当初の建築坪数は、114,079坪、鉄筋コンクリート造2階建てで一部木造平屋建て、工事費は29,250円14銭と記録されている。 【構成材料(財産台帳より)】 ・外壁:リシン仕上げ ・屋根:厚型スレート葺	内部の改修を行い、長島愛生園歴史館として平成15(2003)年に開館し、現在までに13万人以上の見学者が来館している。外壁にはひび割れが発生し、大雨のときにはしばしば雨漏りが発生する。また、改修後の内装にもコーキング割れなどが発生している。普及啓発のための見学用施設として利用している。国の登録有形文化財(H31.3.29)。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	補修費用見積額 64,376千円 令和2年3月耐震診断実施 ・本体部分耐震基準満たす。 ・木造部耐震補強が必要。 ・本体部分と木造部分との間にジョイントが必要。		国の登録有形文化財。療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
11	1	a,b,e	恵の鐘(鐘楼堂)	【用途】鐘楼 【建設年】昭和10(1936)年 【使用状況】昭和8年着工、10年竣工。銘板は京都西本願寺大谷尊由閣下のご染筆で、初代の金は鐘はお裏方より寄贈されたもの。現在は3代目の鐘となっている。	鐘楼は、35㎡の敷地中央にあり、海拔約60メートルの光が丘の頂にある。昭和11年に起きた処遇改善入所者ハンスト運動・長島事件の際、患者の怒りの乱打によりひびが入り、昭和40年頃から変調をきたし昭和58年に復元再鑄された鐘は、奈良法華寺の久我門跡をお迎えして落慶法要を行ったが、再び変調により昭和58年に中止。しかし、その後、復元再鑄された鐘は、初代のより一回り大きく、撞き初め式は西本願寺大谷範子裏方によって行われた。今も、午前と午後の6時には、自動操縦により鐘が打ち鳴らされ、入所者に朝夕の時報を告げる役割を今なお果たしている。普及啓発のための見学用施設として利用している。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上			国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
24	1	a,b,c,d	長島神社	【用途】神社 【建設年】昭和10(1935)年 【使用状況】昭和10年、入所者の手で立てられた光明皇后(奈良時代)を祭っている神社。	潮が引いた時には園の海岸線側から、徒歩で渡り鳥居をくぐって階段を上り参拝することができ、毎年2月になると附属看護学生が国家試験合格祈願に多数訪れている。普及啓発のための見学用施設として利用している。屋根の破損が見られる。		現地保存	同上			国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
29	1	a,b,c,e	報国農園	【用途】農園 【造成年】戦時中 【規模】 【履歴】	戦中戦後の食糧難の時代、食料増産のため入所者が開墾した畑。現在はハイキングコースの一部として利用・公開している。	用途廃止	現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
30	1	a,b,c,e	相愛溜池	【用途】溜池 【造成年】1943(昭和18)年 【規模】 【履歴】	利用なし。溜池には土砂が堆積し、水かさ浅くなっている。現在はハイキングコースの一部として利用・公開している。	用途廃止	現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
31	1	a,b,c,e	少年農園	【用途】戦時中 【造成年】戦時中 【規模】 【履歴】	路肩が減少し、通路の歩行が困難になりつつも、現在はハイキングコースの一部として利用・公開している。	用途廃止	現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
43	1	a,b,c,e	旧売店(現・選挙管理委員会事務所)	【用途】 【建築年】 【構造形式】 【規模】 【履歴】			現地保存	同上			国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位4 24/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
4	1	a,b,e	ac	園長官舎 【用途】官舎(住宅) 【建設年】昭和5(1930)年1月25日 【構造形式】木造 【規模】地上1階 【面積】建築面積・延床面積:163.27平方メートル 【構成材料(現在)】 ・外壁:下見板張り・モルタル ・屋根:瓦葺・トタン葺き(一部)	劣化部分には適宜、補修が行われている。希望者は内部、外観を見学することは可能。国の登録有形文化財(H31.3.29)。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	(瀬戸内市) 長島愛生園内の歴史的建造物等を広く保存・活用することは、同園将来構想の基本計画で「ハンセン病問題の啓発」を具体的に展開すること、及び本市総合計画の基本計画で「みんなのおもいやりあふれる人権尊重のまち」に寄与すると考える。 (世界遺産NPO) R2年度調査報告書のとおり。	補修費用見積額 22,393千円	国の登録有形文化財。療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
8	1	a,b,c,e	ac	十坪住宅(第四千代田) 【用途】寮舎(住宅) 【建築年】昭和8(1933)年 【構造形式】木造 【規模】平屋建て91㎡ 【履歴】昭和52(1977)年増築	昭和初期の木造建造物、かつ簡素な建物で、入所者の使用終了からも30年近く経過していることもあり、かなりの部分で損傷が激しい。そのための応急処置として雨による腐食を進行させないため、トラックシートにて一時的に防水を行っている。希望者は外観を見学することは可能であるが、内部の公開は行っていない。	用途廃止	現地保存	同上	緊急保全費用見積額 2,310千円	国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
9	1	a,b,c,e	ac	十坪住宅(路太利) 【用途】寮舎(住宅) 【建築年】昭和13(1937)年 【構造形式】木造 【規模】平屋建て43㎡ 【履歴】	昭和初期の木造建造物、かつ簡素な建物で、入所者の使用終了からも30年近く経過していることもあり、かなりの部分で損傷が激しい。そのための応急処置として雨による腐食を進行させないため、トラックシートにて一時的に防水を行っている。希望者は外観を見学することは可能であるが、内部の公開は行っていない。	用途廃止	現地保存	同上	「ゆいの会」により、本年3月21日より改修中。	国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
10	1	a,b,c,e	ac	十坪住宅(第二兵庫) 【用途】寮舎(住宅) 【建築年】昭和9(1934)年 【構造形式】木造 【規模】平屋建て46.29㎡ 【履歴】	入所者の居住棟として利用しているが、利用者が長期入院中のため、帰宅の目処はたっていない。内部に利用者の個人所有物は残されている。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
12	1	a,b,c,e	ac	光が丘 【用途】 【建築年】1935(昭和10)年 【構造形式】 【規模】 【履歴】	かつて十坪住宅が立ち並び、山の斜面は食糧増産のため段々畑として使用された。現在は十坪住宅のほとんどが取り壊され、段々畑は雑草が茂っている。		現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
14	1	a,b,c,d	ac	曙教会 【用途】教会 【建設年】1950(昭和25)年10月28日 【構造形式】木造2階建て 【面積】建築面積:211.4㎡ 延床面積:240.89㎡ 【履歴】	利用中。牧師が常駐している。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。	国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
15	1	a,b,c,e	ac	浪花道路 【用途】道路 【建築年】1935(昭和10)年 【構造形式】 【規模】 【履歴】	利用中		現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
16	1	a,b,c,e	ac	一朗道 【用途】道路 【建設年】1938(昭和13)年 【構造形式】 【面積】 【履歴】	利用中		現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
18	1	a,b,c,d,e	ac	邑久高校新良田教室講堂 【用途】高校 【建設年】昭和32(1957)年 【構造形式・規模】 講堂:木造 地上1階 【面積】 講堂:建築面積・延床面積 165.28㎡ 【履歴】 昭和32(1957)年、第3期工事において竣工。	講堂は老朽化がすすんでいるが、入所者の卓球クラブが使用している。希望者は内部を見学することもできる。床のたわみや外壁、内壁の剥離が確認される。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
20	1	a,b,c,d,e	ac	邑久高校新良田教室男子寮 【用途】住居 【建設年】昭和30(1955)年 【構造形式・規模】 寄宿舎:木造 地上1階 【面積】 【履歴】 ・昭和30(1955)年8月31日、第1期工事において竣工(303㎡)。以降、昭和31(1956)年に増築(305㎡)、昭和32(1957)年に増築(129㎡)、昭和33(1958)年に増築(247㎡)。	内部外部ともに大きく変更され、車庫として利用されていたこともあり、内部・外部ともに大きく変更されている。	用途廃止	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	
23	1	a,b,c,d	ac	納骨堂 【用途】墓 【建設年】2002(平成14)年3月27日 【構造形式】鉄筋コンクリート造 【規模】地上1階 【面積】37.21㎡	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。	

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト(不動産)【優先順位4 24/43】

No.	対象選定の観点	保存方法	対象施設	概要	現在の状況	所有権	自治会の意向	自治体・NPO等との関係	保存に向けた補修等に係る費用	WGの意見	備考
27	1	a,b,c,e	a	神谷書庫 【用途】書庫 【建築年】1981(昭和56)年3月10日 【構造形式】RC1階 【規模】24.30㎡ 【履歴】	ハンセン病関連資料の書庫として利用中。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上			建築後50年を経過していないので登録有形文化財の対象とはならないが、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
28	1	a,b,c	a	船越棧橋 【用途】棧橋 【建築年】1983(昭和58)年 【構造形式】 【規模】 【履歴】	平成29年に浮き棧橋部分が水没。令和2年度に修復完了。	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上			建築後50年を経過していないので登録有形文化財の対象とはならないが、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
32	1	a,b,c,e	a c	豚舎跡 【用途】養豚場 【造成年】1953(昭和28)年 【規模】 【履歴】	更地となり、現在は利用なし。	用途廃止	現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
33	1	a,b,c,e	a c	旧少年舎に続く旧道 【用途】道路 【建築年】戦時中 【構造形式】 【規模】 【履歴】	利用なし。雑草が茂る。		現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
34	1	a,b,c,d	a c	恩賜寮(石垣部分) 【用途】 【建築年】1938(昭和13)年 【構造形式】 【規模】 【履歴】	上部建物は面会人宿泊所(しんじゅ荘)として利用中。上部の石灯笼は1938年当時のもの。		現地保存	同上			国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
35	1	a,b,c,d	a c	ロザリオ教会 【用途】教会 【建築年】1950(昭和25)年10月28日 【構造形式】木造平屋 【規模】105.78㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
36	1	a,b,c,d	a c	真宗会館 【用途】寺 【建築年】1959(昭和34)年1月9日 【構造形式】木造平屋 【規模】207.83㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
37	1	a,b,c,d	a	真言宗大師堂 【用途】寺 【建築年】1974(昭和49)1月25日 【構造形式】木造平屋 【規模】137.44㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		建築後50年を経過していないので登録有形文化財の対象とはならないが、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
38	1	a,b,c,d	a c	天理教誠心会 【用途】教会 【建築年】1958(昭和33)年6月30日 【構造形式】木造平屋 【規模】135.57㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
39	1	a,b,c,d	a c	法華堂 【用途】寺 【建築年】1959(昭和34)年3月10日 【構造形式】木造平屋 【規模】97.52㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
40	1	a,b,c,d	a	仏立会館 【用途】寺 【建築年】1977(昭和52)年10月4日 【構造形式】木造平屋 【規模】76.18㎡ 【履歴】	利用中	国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		建築後50年を経過していないので登録有形文化財の対象とはならないが、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
41	1	a,b,c,d	a c	禅宗達磨堂 【用途】寺 【建築年】1955(昭和30)年10月27日 【構造形式】木造平屋 【規模】84.29㎡ 【履歴】		国有財産として管理(財産台帳に記載)	現地保存	同上	今後、各所修繕等により改修を検討。		国の登録有形文化財及び、療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。
42	1	a,b,c	a c	新良田地区寮舎跡地 【用途】寮舎(住宅)跡 【造成年】1951(昭和26)年3月31日 【規模】 【履歴】	グランドゴルフ場として利用中		現地保存	同上			療養所の指定史跡を目指す上での構成要素物件として保存。

長島愛生園歴史的建造物等保存対象リスト（不動産） 工程表（作業スケジュール）

No.	対象施設	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考	愛生園WG 優先順位
7	十坪住宅 (梅ヶ香)				緊急保全 2,090千円						1
19	邑久高校新良田教室 特別教室				緊急保全 2,310千円						1
25	新良田治療分室				緊急保全 3,850千円						1
2	旧日出浴場 (国登録有形文化財)				基礎調査①	基本設計②	実施設計③	補修整備④	補修整備⑤	①～⑤合計見積金額 58,707千円	2
21	収容棧橋	基礎調査 (NPO済)	基本設計 (NPO済)	実施設計 (NPO予定)	補修整備①	補修整備②				①+②合計見積金額 (基本設計中間値) 92,000千円	2
22	監房	基礎調査 (NPO済)	基本設計 (NPO済)		実施設計①	補修整備②	補修整備③			①見積金額 3,800千円 ②+③合計見積金額 (基本設計中間値) 136,000千円	2
3	旧洗濯場 (国登録有形文化財)				基礎調査①	基本設計②	実施設計③	補修整備④	補修整備⑤	①～⑤合計見積金額 28,884千円	3
4	園長官舎 (国登録有形文化財)				基礎調査①	基本設計②	実施設計③	補修整備④	補修整備⑤	①～⑤合計見積金額 22,393千円	4
8	十坪住宅 (第四千代田)				緊急保全 2,310千円						4